

映画

「アスファルト」(写真上) フランス郊外の老朽団地。古いエレ



ベーターの操作に困っている女優(イザベル・ユペール)と手助けをした鍵っ子の少年(ジュール・ベンシエトリ)。エレベーター

を使わない約束のため、人の利用しない時間を見計らって乗り、夜勤の看護師と知り合いになる中年男。団地の屋上に不時着して、団地に住むアルジェリア系移民の女性にかくまわれるNASAの宇宙

飛行士。3組の男女の意表を突く出会いからむすばれていく友情、思いやりが、いつしかほのぼのとした味わいをもたらすユニークな1作。フランス、サミユエル・ベンシエトリ監督。東京・ヒューマントラストシネマ有楽町ほかで公開中、順次全国で。

「スタートライン」(写真下) 「珈琲とエンピツ」架け橋きこえなかつた3・11などの今村彩子監督のセルフドキュメンタリー。生まれつき耳



の聞こえない今村監督は、一昨年、読み書きを覚えてくれたよき理解者だった母と死別し一念発起。自分と向き合うために、昨年夏、

次各地で。

沖縄から北海道の日本最北端の地・宗谷岬まで、初心者ながら日本縦断の自転車旅を決行します。伴走撮影の「哲さん」とともに、彼の何回もの厳しい忠告に泣きそうになり、旅のテーマのコミユニケーションについて自問を重ねたりしながらの苦闘の57日間。壁にぶつかりながら逃げずに突っ走る姿です。東京・ケイズシネマで公開中、順